

計要覧」(昭51)。

小学校教員数の推移を昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、小学校教員数は緩慢な下降状況にあるが、昭和49年度以降はほぼ横ばいとなっている(図2-2-10)。

昭和51年度における本県小学校教員一人当たりの児童数は、国立小学校23.9人、公立小学校21.2人、私立小学校23.6人、国・公・私立小学校合せての平均は22.9人となっている。

国立小学校を除く小学校教員一人当たりの児童数の推移を昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、私立小学校では昭和46年度まで緩慢な下降を示し、その後逐次上昇傾向を示している。

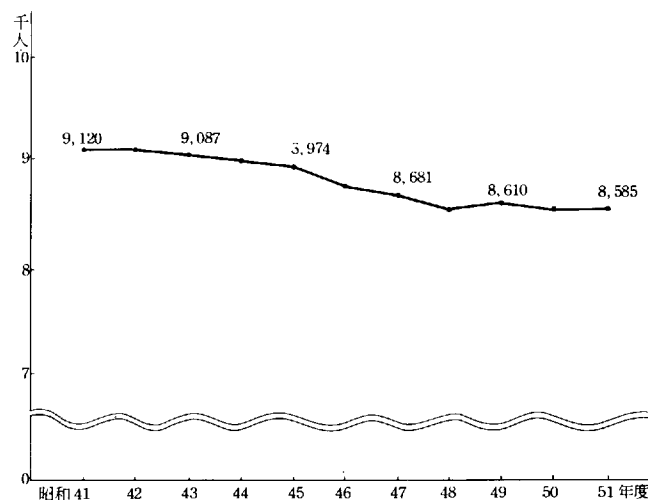
公立小学校については年々下降状況にあり、昭和51年度は昭和41年度に比べ5.8人減となっている。なお、昭和51年度の公立小学校教員一人当たりの全国平均児童数は28.0人であるので、本県はそれより6.8人少ない(図2-2-11)。

昭和51年度における1学級当たりの教員数についてみると、国立小学校1.41人、公立小学校1.33人、私立小学校1.42人となっている。

国立小学校を除く、公・私立小学校における1学級当たりの教員数の推移を昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、私立小学校においては、昭和46年度までは緩慢な上昇傾向にあるが、その後は逐次下降の状況を示している(図2-2-12)。

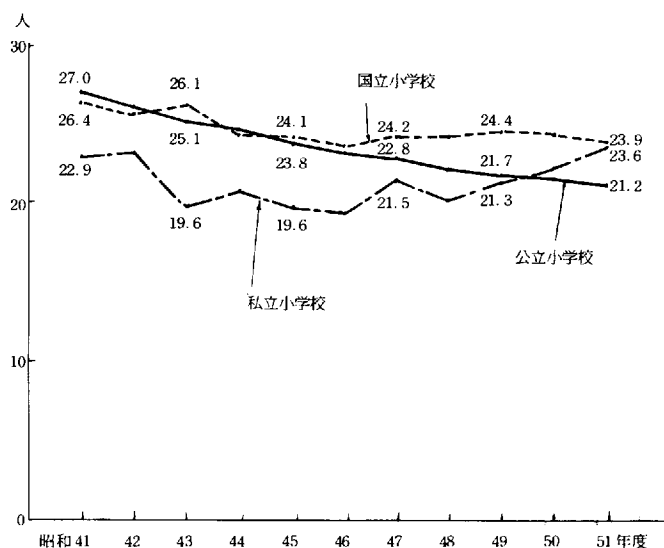
また、公立小学校については緩慢な上昇傾向にあり、私立及び公立小学校1学級当たりの教員数は近接しつつある。

図2-2-10 小学校教員数の推移



注：1. 「学校統計要覧」(昭41～昭51)による。
2. 教員数には養護教諭、講師等を含む。
3. 教員数は国・公・私立小学校教員の総数で示す。

図2-2-11 教員一人当たりの児童数の推移



注：1. 「学校統計要覧」(昭41～昭51)による。
2. 児童数=(構成別児童数)÷(構成別教員数)